

# SGH NEWS

平成29年度 No.1



学校法人 森教育学園

岡山学芸館高等学校

## SGH校認定3年目を迎えて



岡山学芸館高等学校  
校長 森 健太郎

本校が文部科学省SGH校に認定されて3年目を迎えました。本年度は3学年全ての学年がSGH受講対象学年となり、担当教員も26名体制の大プロジェクトに成長しました。1年次からSGHを履修してきた生徒にとっては3年間のプログラムの最終章となり、SGHで育んできた力が初めて大学入試の新たな門戸として試されるチャレンジの年です。生徒のみなさんが将来へ向かって立派に羽ばたけるよう、また授業を越えた社会貢献活動を行ってほしい、教員一同、精一杯サポートしていきたいと思っています。

本年度も本校の活動を見守っていただきたく、宜しくお願い申し上げます。

## 平成29年度のSGH授業が はじまりました!

本年度のSGH授業が開講しました。清秀高等部・医進・SV・英語科・特進の高校1年生は「グローバル課題研究Ⅰ」、2年生は「グローバル課題研究Ⅱ」、そして本年度より3年生に「グローバル課題研究Ⅲ」の授業を行います。

「グローバル課題研究Ⅰ」では、2年次にカンボジアで行う海外フィールドワークに向けた基礎知識を学び、SGHを学ぶ上で重要な2つの要素を身につけていきます。



最初の授業では「グローバル社会を考える2択クイズ」を行いました。「てんぷらうどん1杯の原材料のうち、輸入されている原材料は何%?」から始めて、全部で10問。最初のうちは少し戸

惑う様子もありましたが、次第に授業を楽しむ姿が見られました。また意見をシェアする時間には、初回とは思えないほど積極的に意見が飛び交い、1年生の意欲の高さが伺えました。



「グローバル課題研究Ⅱ」では、前年度の学びを活かし、国内および海外(カンボジア)をフィールドに、自分たちで考えたアクションプランを実行しながら、SGHの5つの要素を育成します。初回の授業では、学校内を歩き回って「グローバル」を感じたものの画像を発表しました。



生け花を撮ったグループは、「日本文化である生け花を留学生が外国原産の植物を使って活けていた。」、日本国旗を撮ったグループは、「原材料は合成繊維とプラスチック(いずれも石油製品)。自国の国旗も世界なしでは作れない。」など、昨年より一歩進んだ気付きがあり、生徒たちの中で生まれているグローバル・マインドの確かな成長を感じました。

「グローバル課題研究Ⅲ」では、2年間の活動を練り直しながら、どうすれば理想の活動になるのか、アクションプランの再策定を行っています。

3学年体制となった本校のSGH。高校生のまっすぐな視点からできる社会貢献を実践して、経験から多くを学び、それを人生の糧として成長してくれると嬉しく思います。



## 岡山学芸館高等学校のSGH

本校の課題研究テーマは「開発途上国における貧困の悪循環を是正するために高校生ができること」。グローバル社会に貢献できるリーダーが必要とする「グローバル・マインド」「問題解決能力」「交渉型コミュニケーション能力」「協働力」「実践力」の5つの資質を授業を通して育成していきます。



1年次は「グローバル・マインド」と「問題解決能力」の2つに重点を置いたカリキュラム構成にしています。

また本校SGHへの協力機関として、SGU（スーパー・グローバル・ユニバーシティ）である岡山大学大学院 教育学研究科・環境生命科学研究科と連携し、教授や院生による授業を展開し、生徒の研究をサポートしています。

### アクティブ・ラーニングで能動的に



授業は生徒が問題を発見し、グループワークでのディスカッションやプレゼンテーションを通して主体的に答えを見出していく、アクティブ・ラーニングという能動的学習方法で進めていきます。本校では、授業ご

とに小テーマをグループワークで協議し、解決策を考えます。また年度末には研究成果を発表し、意見を外部へと発信する力を養います。

### 高大連携授業

1年次では岡山大学をはじめとする大学教授・大学院生による高大連携授業の受講を受講し、より専門的・多角的な視野を学びます。同時に、他分野の他者と協働しながら、主体性を持って学ぶことの重要性を学んでいきます。



## 海外(カンボジア)・国内フィールドワーク

高校2年次では、海外(カンボジア)で貢献活動のフィールドワークを行います。生徒たちは事前に日本国内で13の研究プロジェクトに分かれて、どうすれば現地の状況を改善できるのか仮説を立て、入念にリサーチを行います。それを現地で実践し、効果を検証します。カンボジアの提携大学であるBBUの生徒との協働体制を組み、帰国後も研究活動を継続します。

国内フィールドワークでは、生徒たちが岡山市内の小学生に国際援助をテーマにした体験授業などを行い、啓蒙活動を展開します。



また、これらの活動を学校外部の発表会で発信する機会も多く、外部へ発信する力を更に磨いていきます。

## SGH甲子園に出場しました!

2017年3月19日、本校3年生(当時2年生)6名が、関西学院大学で行われたSGH甲子園に出場しました(関西学院大学、大阪大学、大阪教育大学主催、早稲田大学協力)。大会には全国のSGH指定校から84校234チームが参加しました。

「プレゼンテーション部門」には、横井紀華さんと井口実玲さんが、応募80組中25組に絞られる書類と動画による予選を見事突破し、出場を果たしました。テーマは「トンレサップ湖ごみ問題解決プロジェクト～協働から考える社会変革の可能性～」。カンボジア現地地で地域住民と協働して行ったゴミ拾い活動を論理的に発表しました。

「ポスター部門」では「コミュニティ(チェイ村)追跡調査プロジェクト」と「45万円おもてなしプロジェクト」の2グループが発表を行いました。合計4回のプレゼンテーションを全うし、色々な学校の生徒さんたちと交流を深めることができました。

心地よい緊張感の中でプレゼンテーションをしたことは、非常に素晴らしい経験となりました。本年度もSGH甲子園出場を目標のひとつとして、SGHの研究活動を頑張りましょう!



SGH  
NEWS  
平成29年度 No.1

SGH広報誌 平成29年度 No.1  
2017年5月1日発行

編集 岡山学芸館高等学校SGH運営部  
〒704-8502  
岡山市東区西大寺上1丁目19-1  
☎086-942-3864



岡山学芸館高等学校SGH活動ブログ  
<http://gakugeikansgh.jugem.jp/>

岡山学芸館高等学校SGHフェイスブック  
<https://www.facebook.com/gakugeikansgh/>

